

家具建具の生産能力及び製品価値向上を図る技術の習得及び標準化



製品精度及び生産性の向上を図るため、新型のパネルソー及びスライドソーを導入し、更に、これらの装置を活用した作業標準書を作成・整備した。

背景・目的

弊社では、木製建具・家具の製造やメンテナンスを行っているが、熟練工の経験や技術といった属人的ノウハウに依存してきた。しかし、近年は熟練工の高齢化や後進の育成が不十分な状態であるため、製品精度・生産時間にバラつきが生じるほか、コスト削減や短納期への対応も難しい状況にあり、顧客満足度の向上や会社運営に影響を及ぼしていた。

そこで、製造環境の改善を図るべく新規設備を導入し、作業標準書の作成・整備することで、製品精度及び生産性の向上を目指した。

実施内容

課題解決を図るため、デジタル入力方式により自動運転が可能なパネルソー、スイッチ操作により鋸の傾斜角度の指定が可能なスライドソーの2機種を導入することとした。



企業概要

有限会社後村建具工場

◇代表者 代表取締役 後村 勝美

◇従業員数 10名

◇資本金 300万

◇創立 昭和46年4月

◇所在地 〒031-0803

青森県八戸市諏訪一丁目15-19

◇事業内容等

【主要製品】木製建具・木製家具・店舗什器

◇電話番号 0178-22-1998

◇FAX番号 0178-22-2124

◇E-mail k-atomura@atomuratategu.com

◇U R L http://www.atomuratategu.com

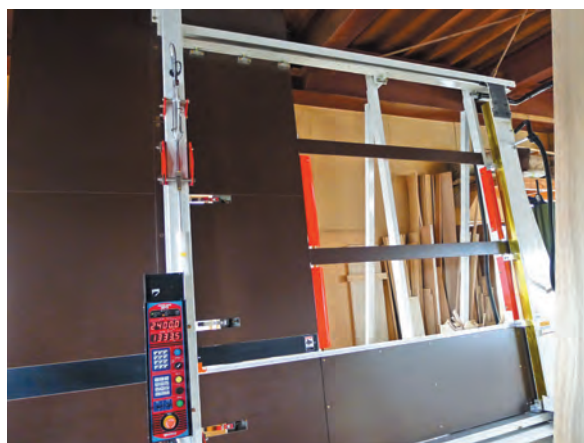
○導入設備

◇8尺パネルソー

立型フレームの特色を利用して、工場の壁面側等に有効的に設置することができる。また、大判材等のラフカット、直線切断、小割切断、切断面を基準とした直角切断が可能である。更に、ドロップリターン方式により、安全作業切断加工の効率化を図ることができる。鋸走行用スリットの前面側には材料押さえ板が設けられており、加工時は材料のクランプ作業を行う。

◇スライドソー

被切断材を作業台上でスライドさせ、丸鋸で切断する。電動丸鋸とモーターとのユニットにより、鋸刃が作業台と直交する90°の位置から、鋸刃との交差方向で最大45°まで傾斜切断することができるため、パネルソーで切り出した部材を更に小分けに切断することが可能である。



成果

装置の切断精度や操作性等を確認するため、2機種 of 加工能力を引き出すテスト稼働を行った。

その結果、サイズ及び仕上り精度ともにバラつきがなくなり、高精度な加工が可能であることを確認した。

本事業による設備導入によって品質や生産性が向上したほか、コストダウンも可能となった。さらに、尺とメートルの両規格にも対応できる体制が整った。

今後の展望

以前は生産能力の限度によって失注していた、オーダー家具・量産タイプの家具及び建具（標準装備品）・木工製品等の発注先へ営業活動を行い、受注確保に努め、新規取引先の獲得による一層の受注拡大を目指す。短納期対応が求められる店舗・施設向け量産品も積極的に営業活動を行っていく。

また、雇用の維持に努めるとともに、若手技術者の育成にも注力していく。